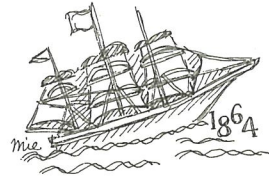


法人部

DOSHISHA REPORT



●第二十三回東京新島講座

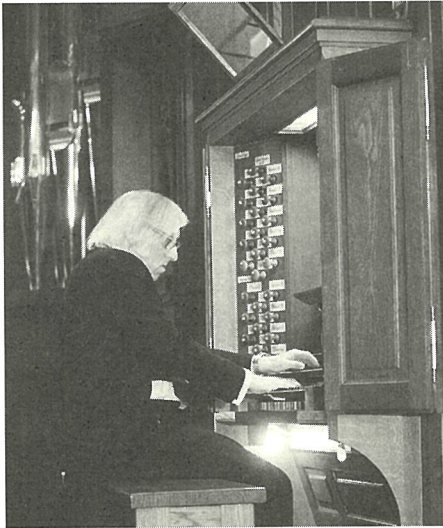
十一月十六日、第二十三回東京新島講座公開講演会が同志社大学東京アカデミーで開催された。今回は伊多波良雄大学経済学部教授と藤原秀夫大学商学部教授がそれぞれ「地方分権時代に向けた地方財政改革」、「グローバル資本主義の現状と未来」の演題で講演、約百人が参加した。

●第二十八回新島講座

(パイプオルガンコンサート)

ドイツ国立フライブルク音楽大学教授

であるジグモンド・サットマリー氏を演奏者としてお招きして、十一月二十四日新島記念講堂でパイプオルガンコンサートが行われた。ジグモンド・サットマリー氏は、現在ハンブルク芸術アカデミーのメンバーであり、演奏家として世界各国で精力的に活動し、絶大な人気を博している。同コンサートでは、J・S・バッハの「パッサカリアとフーガ ハ短調 BWV582」、F・リストの「バッハの名による前奏曲とフーガ」等九曲の演奏に、八百六十五人の聴衆は酔いしれた。



●二〇〇二年秋の叙勲

大学名誉教授原正氏が勲二等瑞宝章を受章され、十一月七日皇居で伝達式が行われた。また、大学名誉教授西村豁通氏が勲三等瑞宝章を受章され、十一月八日国立劇場大劇場で伝達式が行われた。

●創立記念行事

リユニオン

十一月三日(日) 十二時 於 同志社新島会館
創立記念礼拝

十一月二十四日(日) 十時 於 同志社栄光館
早天祈禱会

十一月二十九日(金) 七時
於 若王子山頂

創立百二十七周年記念式

十一月二十九日(金) 九時
於 大神学館礼拝堂

●第九回外国人教員懇談会

十二月十三日に第九回外国人教員懇談会が京都ガーデンパレスで開催された。本懇談会は国際主義教育委員会主催で例年この時期に開催され、今回は約六十人が参加して懇談した。

大学

●文学研究科が産業関係学専攻 (修士課程)を開設

二〇〇三年四月、大学院文学研究科に「産業関係学専攻」(修士課程)が誕生する。「産業関係学」とは、激動する雇用および労働に関する社会事情を研究する社会科学の一領域で、日本では同志社大学が全国に先がけて一九六六年に文学部に開設した。このたび大学院を設置することで、日本では数少ない独立した学問領域として研究をすすめる、複雑化する日本や世界の雇用・労働問題を解決できる研究者の育成をめざす。

●政策学部を新設、工学部二学科を増設

二〇〇四年四月、七つ目の新しい学部として「政策学部」を開設することになった。この学部は徹底した基礎教育と確実な個別演習指導に政策研究科目を組み合わせてることにより、自ら問題を発見できる能力、問題解決に役立つ基礎能力を著実に身につけ、卒業後、公共的性格を持った組織やネットワークのメンバーと

して活躍できる人材、民間企業で問題解決や経営戦略の策定を担える人材を育成する。入学定員は四百人で、昼夜開講制をとる。四年間を通して今出川キャンパスで学ぶことも特色。

工学部には、情報システムデザイン学科、環境システム学科の二学科を増設。情報システムデザイン学科は、コンピュータを強力なツールとして使いこなす能力を有すると同時に、生活、ビジネス、そして生産の各分野で新しいコンセプトを提案し、広く展開できるシステムデザインナーとしての素養をもつエンジニアの養成を目的とする。入学定員は百人。また環境システム学科は、地球環境システムに関する知識を身につけて多様な環境問題に対処できる技術者と、人間環境に関連する科学の基本を理解してより良い人間生活の環境設計に携わる人材の育成をめざす。入学定員は五十人。

●教員ラウンジ棟(交隣館)起工式

九月二十四日、京田辺校地正門南側で、教員ラウンジ棟(交隣館)の起工式が行われた。京田辺校地で授業を行う教員の講師控室と、相談に訪れる学生と教員が

交流できるロビーなどを備えており、二〇〇三年四月末完成をめざしている。

●アーモスト大学に日本庭園 「友志園」完成



新島襄が学んだアメリカのアーモスト大学が、一世紀を超える同志社との交流を記念して、キャンパス内に日本庭園を造園した。同志社アーモスト館の関係者を中心に同志社側も費用の一部を負担、九月二十三日に開園式が行われた。あわ

せて、八田英二大学長に名誉文化博士の学位が授与された。

女子大学

●同志社女子大学地区別懇談会

同志社女子大学の教育方針や取り組みを理解していただき、また卒業生と栄光会会員との関係を強めるため、同志社女子大学主催、同志社女子大学栄光会・同志社女子大学「Vine」友の会（※）の協賛による懇談会を全国各地で企画。初年度である二〇〇二年度は三会場（六月八日／岡山、七月六日／小倉、十三日／名古屋）で開催した。学長による講演の後、卒業生・Vine友の会および栄光会会員との懇親会が行われ、各会場三十五〜五十五人の来場があり、有意義な会となった。

※同志社女子大学広報誌「Vine」を講読する卒業生の集いとして二〇〇一年四月に発足。さらに二〇〇二年四月より、大学から委嘱された卒業生十九人が役員（世話人）となり、「同志社女子大学と卒



21世紀の大学教育について講演する女子大学長（岡山会場）

業生の絆を強め、会員の自己啓発を高めるとともに、同志社女子大学の発展に寄与すること」を目的に、組織としての活動を開始した。なお、十一月二日に開催した初の総会で「Vine友の会」から「Vineの会」への名称変更が承認された。

●読売けいはんなシンポジウム

——文化創造力がひらく可能性——
国立国会図書館関西館の開館を記念し、同志社女子大学・同志社大学・読売

新聞大阪本社との共催によるシンポジウムが、九月二十三日新島記念講堂で開催された。安江明夫国立国会図書館関西館館長の開館プレゼンテーションに始まり、河合準雄文化庁長官による「読書の楽しみ」と題した講演、またその後、同志社大学渡辺武達教授を進行役に、作家の荒俣宏氏、高村薫氏、国際日本文化研究センターの川勝平太教授を交えての「ことばの力 情報の生かし方」をテーマとしたパネルトークが行われた。約八百人の聴衆は目前に迫った開館への期待を胸に、熱心に聞き入っていた。

●同志社女子大学・城崎町 歴史文学まつり／ホスピタリティ体験実習

九月二十八日、二十九日、兵庫県立城崎大会議館ほかで開催。城崎町との共催が四年目を迎えた今年は、文部科学省推進の生涯学習まちづくりモデル支援事業に選定され、文部科学省委託事業「大学と地域の連携を考える全国フォーラム」を開催。また、記念講演、短歌コンクール「城崎百人一首」の表彰式、記念コンサートなど多彩なイベントが催され、盛況のうちに終了した。

また、二十三〜二十九日には昨年引き続きインターンシップの取り組みである「ホスピタリティ体験実習」を実施。在学生四十四人が参加し、城崎温泉の老舗旅館・ホテルでの現場研修を通して「ホスピタリティ」の精神を学んだ。

●リカレント学習講座「Neurocube Art & Technology Workshop」

九月二十八日から毎週土曜日、全四日間でニューロキューブ（脳や中枢神経をイメージした、新しいタイプのロボティクスシステム）のワークショップを開催。テーマは「アートとテクノロジーの融合」。同志社女子大学森公一教授がコーディネーターを務め、樺昇氏（アーティスト）、勝田哲司氏（システムエンジニア&テクニカルライター）、菊池日出男氏（システムエンジニア）を講師に迎えて行った。受講生にも「新しい体験ができた」と大変好評であった。

●同志社女子大学卒業生の集い2022

同志社女子大学と同志社女子大学Vine友の会の共催による卒業生の集いを、十一月二日今出川キャンパスで開催した。当日は栄光館ファウラーチャペル

での厳かな礼拝に始まり、「Vine友の会」総会・同志社女子大学廳谷壽教授による「王朝時代の京都」と題した講演会が行われた。その後引き続き、新しくなったジエームズ館でティーパーティーなどを開催。約三百五十人の卒業生が母校に集い、旧友との再会を楽しんだ。

●シェイクスピア・プロダクション公演 The Merchant of Venice

学芸学部英語英文学科三、四年次の二年間にわたりシェイクスピアの作品を研究し、四年次の秋には英語による上演を行う。企画から衣装、舞台装置、照明、演出、キャスト等すべて学生の手によって行われ、第五十二回目を迎える今年度は、十一月十五日、十六日、新島記念講堂で「The Merchant of Venice」（ヴェニスの商人）を上演。学内外から二日間で千人を超す観客が来場し、公演は成功を収めた。

●音楽学科定期演奏会

十二月十四日、京都コンサートホールで第三十二回定期演奏会を開催した。出演は音楽学科合唱団と管弦楽団で、尾形敏幸「光の生誕」より二曲、三善晃「木

とともに 人とともに」他三曲、A・ドヴォルザーク 交響曲第8番ト長調、M・ラヴェル「ダフニスとクロエ」第2組曲が演奏され、大勢の聴衆から賞賛を浴びた。

●「SEITO 百人一首」短歌コンクール

日本国内および世界の高校生を対象とした短歌コンクールを、日本語日本文学科が初めて実施した。六〇十一月にかけて、日々の生活の中での感動、想い、生活感覚などをテーマに募集したところ、予想を上回る八千四百二十首（うち、英語短歌四百三十七首）の作品が寄せられ、その中から、入選一〇〇首を選び「SEITO 百人一首」として十二月二十五日に発表。同志社女子大学ホームページでの紹介や、入選作品をまとめた冊子も作成した。また、今回多数の応募があり、優れた入選作のあった高等学校（十八校）には、「学校特別賞」を贈呈した。

高等学校

●交換留学・ウエスリー・カレッジの

生徒、メルボルンより来校

九月二十四日～十月七日

生徒九人（女子六人・男子三人）

付添 デニス・フリーマン先生

●岩倉祭

体育祭

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）

クラス（二年生）



体育祭

●同志社中学校進学説明会（保護者対象）

十月十九日

●他中学校入試説明会（保護者・受験生対象）

対象）

十月二十六日

十月二十九日

●人権学習

三年生 講演を聞いた後、感想文提出。

「アジアと日本の私たち」

「働くこと・生きること」

壁谷俊則氏（前エイテック関西事務局長）

「聴覚言語障害者の現状と課題」

三ツ矢直子氏

（京都市聴覚言語障害センター職員）

二年生 映画「カンダハール」を鑑賞し、

感想文提出。

一年生 アジア諸国から日本に来ている

留学生を各クラス二人ずつ招いて講演

してもらい、交流の後、感想文提出。

●宗教週間 十一月五日～九日

「壁を取り除く」

大澤 宣氏（紫野教会牧師）

「涙のち晴れ」

横山順一氏（土佐教会牧師）

「ぼくを探しに」

新井 純氏（十日町教会牧師）

「なぜ人を殺してはいけないのですか」

ヒュー・ブラウン氏（西播磨教会牧師）

「大切なもの」

大澤 宣氏（紫野教会牧師）

●クリスマス礼拝

三年生

一・二年生

●家庭クリスマス

●止揚学園訪問

教員七人 生徒十八人参加

香里中高

●学園祭（文化祭・バザー） 九月二十八日

登校してみると発表内容を示すポスター

などが風雨で無残にもズタズタになっ

ていた。生徒・父母・教職員の気分も沈

んでしまったが、その後、天気も回復し

来校者も増え、バザー入口には行列がで

き、中庭のステージや模擬店も賑い活況

を呈してきた。お茶席も屋内から野点に

なった。香真館では中学一年生が活躍し、

展示教室では生物部が秀逸であった。自

作の映画上映も多く、質量ともに充実した内容であった。

●中学二年函館修学旅行

十月二十七日～三十日

「新島襄ゆかりの地を訪ねる」というテーマのもとに昨年までは会津若松・日光へ行っていたが、今年は「新島襄海外



渡航乗船之碑」を訪ねた。四月からリベルトス（総合的な学習）の時間を使って、各自が選んだテーマについて調べ、クラスごとに立派な冊子が出来上がった。旅行後生徒は、「寒かったけど函館の夜景は美しかった」「有珠山、大沼などには自然が多く残っていた」との感想。バターを作ったり、ステンドグラス、木工など手作りも貴重な体験のようであった。

本校では中学校で初めて飛行機を使用した。旅行中病人、ケガ人もなく何よりだった。

●高校二年ハワイ修学旅行

十月二十八日～十一月二日

昨年はテロの影響でハワイ行きが中止になったので、今回は四度目。過去三度をもまえてプログラムに少し変更を加えた。コース別活動でクアロ牧場での乗馬体験、シーライフパークでイルカとの遊泳、ハナウマ湾の見学が加わった。従来行っていたアリゾナ記念館ももちろん訪問し、「えひめ丸」遭難碑前で集会を行った。思わぬ事故で同世代の人々が亡くなったことに、ショックを受けたようであった。

到着するまではハワイは「夢の樂園」とイメージし、実際見える風景もそうであったが、戦争の悲劇を伝える所が多いことを再認識した。また、十二月七日はアメリカにとっては「不名誉な日」という考えなので、「周囲の我々に注がれる目を強く意識した」と感じた生徒もいた。

●大同窓会

参加者目標が二千人、最寄り駅から送

十一月二日

迎バスも出るほど大規模なものであった。この日の目玉は「ブロードバンド時代と起業家精神」というパネルディスカッション。パネラーにTSUTAYA社長の増田宗昭氏、楽天(株)会長兼社長の三木谷浩史氏、有線ブロードネットワーク社長の宇野康秀氏を招いた。約一時間の予定が三十分以上延長した。中庭での模擬店、教室でのクラブやクラスの会、ライブコンサートと続き十七時を過ぎても終わらなかった。盛会で来年も開催することとなった。

●スポーツ大会

高校十一月十二日、中学十三日

●クリスマス礼拝

十二月十三日

お話とマリンバ演奏

●クリスマス祝会

十二月三日(地域の人々を招いての会)

十二月十三日(中学校の生徒の会)

●PTAの活動

私学助成推進運動(街頭署名活動他)
クリーンキャンペーン(恒例となった
寝屋川六中校区五校、香里百七人参加)

●入試説明会

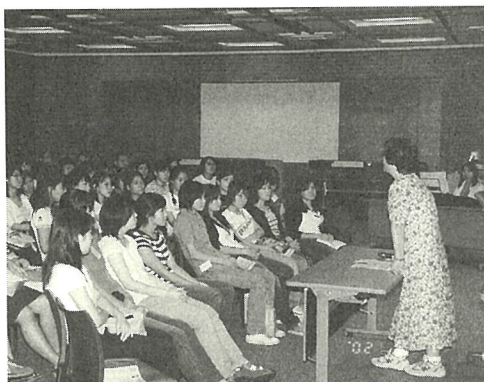
学校内外で数十回実施

女子中高

●修養会

九月七日、八日

同志社びわこトリートセンターで中学二年生から高校三年生の修養会が行われた。中学生は「友情と親の愛」をテーマに、同志社教会の上内鏡子副牧師を講師に迎え、先生の発題をもとに、親子関係をロールプレイで考えた。高校生は「自分探しの旅」をテーマに同志社大学



金縷牧師の話を聞く生徒たち

神学部嘱託講師の金縷牧師を講師に迎え、人生と旅について語り合った。

●体育祭

十月二日

雨天のため、一日順延で実施された。幸い好天に恵まれ、徒競走、綱引き、仮装競演、応援合戦、プログラム最後のクラス対抗リレーに至るまで、活力ある展開がなされた。

●文化祭

十月三日、五日

「Don't think, feel」をテーマとして開催された。合唱コンクールで熱唱し、中学一年生は通路にバード・カーヴィングを飾り、中学二年・三年生はクラスごとの展示、高校生は文化系クラブの発表、有志による展示、演奏等様々な分野で活発な活動が行われた。また五日には並行して、女子部のバザーが開催された。

●収穫感謝礼拝

十一月十四日

ハンドベルの演奏、聖歌隊の合唱による賛美礼拝を持ち、十五日には、収穫物を持ち寄り、感謝の礼拝、午後に、寄せられた収穫物と献金を持つて養護施設・老人ホームなどを訪問し、それぞれの場所で行った。

●クリスマスページェント十二月十七日

国際中高

●体育祭



国際中学校体育祭

午前の部は生徒・教職員で、午後の部は京都市民福祉センターの西陣児童館の方々を招き、一般の方々と共にクリスマス礼拝をまもった。生徒、教職員、礼拝に参加した一般の方々から寄せられた献金は、全国の福祉関係施設、事業所に送られた。

中学校

高等学校

九月二十五日
九月二十四日

好天に恵まれ、生徒たちの自主的な運営により、楽しい一日を過ごした。伝統となりつつある「応援合戦」も趣向を凝らし、学年を超えた、すばらしいまとまりを見せてくれた。

文化祭

九月二十六日～二十九日

中学三年生、高校三年生による舞台発表、クラス展示や、演劇部、吹奏楽部、バンド、ダンス部などの上演、と盛りだくさんの催しが行われた。父母の会主催のバザーも盛況のうちに終われ、充実した学園祭であった。

中学三年生体験学習

十月二十四日、二十五日

富山県氷見・島尾海岸で、地引網、キヤンプファイヤー、大敷き網漁を体験、見学した。日常生活から離れて、楽しみつつ貴重な体験をした。

人権強調月間

十月二十八日～十一月十五日

今年度は、障害者差別について考える、「人権強調週間」と「秋季宗教週間」「読書週間」を通して、広く人間の尊厳、人

権の大切さについて、さまざまな角度から学習した。ワークシヨップ、映画「遙かなる甲子園・太陽は僕の瞳」の上映、講演会、日々の礼拝などで、多くのことを学んだ。

校外学習

十一月十四日

桂木朝一門による「古典落語」を鑑賞した。日常的にはなじみのない、「古典落語」の面白さを学んだ。

十二月高等学校入学試験

十二月九日、十日

本校・ニューヨーク・ロスアンゼルス・ロンドン・シンガポールで、二〇〇三年度高等学校入学試験(帰国生徒対象)が実施された。

中学校

体育祭

九月二十日

学園祭

九月二十六日、二十七日

京都会馆第一ホールで演劇フェスティバルと二年生行事。

本校で一年生行事、クラブ展、生徒会

行事。風間浦中学校との交流会。

全校バレーボール大会

十月二十九日

宗教人権週間

十一月五日～八日

チャペルでの学年礼拝

「人はみな新しく生まれ変わる」

ヒュー・ブラウン(西播磨教会牧師)

「あなたは探し求められている」

森田喜之(いずみ教会牧師)

「死んで咲く花実もある」

横山順一(土佐教会牧師)

大学明徳館で一、二年生合同礼拝

「お隣さんの外国人」

金 要子(京都市国際交流会館)

一、三年生合同礼拝

「国際化時代の民衆」

金 範重(在日本朝鮮留学生同盟)

二、三年生合同礼拝

「十年前と今のKOREANのわたし」

郭 愛里(同志社大学四年次生)

人権行事

十一月八日

テーマ「KOREAを知ろう」

一、二年生全員

午前 映画鑑賞「GO」

午後 体験学習

①ブラインドリーディング②手話③点字

④車椅子⑤介助犬・盲導犬⑥ハングル講座
三年生 見学、体験学習

①映画鑑賞「GO」と講演②京都の人権ゆかりの地を訪ねて③大阪KOREA TOWNの訪問とチャング演奏、着付け、ハングル講座④立命館国際平和ミュージアムと陪審法廷見学⑤衣笠授産所での共同作業体験⑥沖繩事前学習

●読書週間 十一月十一日～十五日

●収穫感謝礼拝と施設訪問

十一月十九日

「収穫感謝祭の心」

山下茂雄（醍醐教会牧師）

放課後、果物をもって白川学園、船岡寮、パンダ園など六施設を訪れた。

●創立記念礼拝 十一月二十二日

「強大高速から弱小低遅へ」

木村良己（同志社高校聖書科）

●クリスマス燭火礼拝 十二月二十日

一昨年から実施された自由参加の企画を今年は全校生徒を二回に分けてチャペルで終業式の一貫で実施した。聖歌隊、ハンドベルクワイア、管弦楽部、演劇部、英語部、生徒会役員が奉仕した。夕刻に



も保護者を対象に実施し約五百人が参加した。

●スキーキャンプ

十二月二十三日～二十七日

三年生（自由参加）

四泊五日で、長野県志賀高原一ノ瀬スキー場へ。二百四十一人が参加し、スキー・スノーボードを楽しんだ。

●沖縄研修旅行

十二月二十三日～二十六日

今年度から三年生を対象に三泊四日で実施した。六十五人が参加し、沖縄戦跡などを訪ねる平和学習と自然体験学習を行った。

幼稚園

●七月お誕生日会

七月一日

午前中は園児に教員たちが劇や合奏などの出し物を行い、午後は誕生日を迎えた園児と父母、教員が昼食を共にし、ケーキにロウソクを灯してお祝いをした（毎月一回行われる）。

●子どもの歌発表会

七月三日

年長組。クラスごとに歌を父母に聞いていただき、親子で七夕飾りを製作した。年中組は七月四日、年少組は七月五日に同様に行った。

●お泊まり保育

七月十二日、十三日

年長組が園に泊まり、キャンプファイヤーや花火をし、楽しく過ごした。

●懇談会（年少組）

七月十五日

●琵琶湖キャンプ

七月三十一日

年長組が比良のキャンプ場へ出掛け、水遊び、バーベキュー、スイカ割りなどを楽しんだ。

●夏期保育

八月一日～三日

水遊び、フィンガーペインティングなどをして過ごした。

●同窓会

八月二日
午後から卒園生が集まり、ゲームをしたり、おやつを食べて過ごした。

●ジャガイモ掘り

八月三日



親子自由参加で北山の畑でジャガイモを掘った。

●入園説明会

九月七日

二〇〇三年度の入園説明を行った。

●運動会

九月二十一日

女子大学テニスコートで、園児が父母と共に競技やダンスを行った。

●入園審査

十月一日

二〇〇三年度入園希望者の親子面接を実施した。

●バザー

十月五日

女子中高校内で、同窓会、女子中高と共に手作りの品や持ち寄った品を販売した。

●遠足（年少・年中組）

十月十五日

勸修寺農園でいも掘り。

●礼拝

十月十八日

年長組が栄光館で礼拝し聖話を聞いた。

●遠足（年長組）

十月二十八日

丹波自然公園。

●親子親睦会

十一月七日

宝ヶ池子ども楽園で全園児親子でゲームを楽しんだ。

●参観日

十一月八日・十八日

●収穫感謝祭

十一月十六日

園児たちが野菜や果物を持ちより、感謝の礼拝を行った。また十一月二十二日のシチューの日には、持ちよった野菜でシチューを作り全園児で食べた。

●校祖墓参

十一月二十八日

全園児親子で新島先生の墓前で礼拝した。

●創立百五周年記念会

十一月三十日

新島会館で全園児と父母と共に礼拝し、野物理事長を一日園長に迎え、新島旧邸で年長組親子がお茶会をした。また、年少・年中組は歌や劇、リズム合奏を発表した。

●クリスマス会

十二月六日

全園児でビーフシチューや果物を食べた。

●クリスマス礼拝・祝会

十二月十三日

新島会館で、全園児と父母と共に礼拝をし、ページェント、歌、合奏などでイエス様のお誕生をお祝いした。

お詫びと訂正

本誌一一四号（二〇〇二年十月一日発行）に誤植がありました。お詫びして訂正いたします。

（訂正箇所）五四頁 中段一〇行目

（誤）二九八八年

（正）二九九八年